

第 20 回基準諮問会議

2014年3月18日、財務会計基準機構（FASF）において第20回基準諮問会議（議長 野崎邦夫 住友化学㈱常務執行役員）を開催し、審議が行われた。それぞれの詳細な内容については、財務会計基準機構ホームページ（<https://www.asb.or.jp/>）にて「議事概要」、「議事要旨」（会員限定）等を公開していますので、ご覧ください。

（審議事項）

1. テーマ提言について

新規テーマについて、それぞれの対応について審議を行った。

(1) 前回までの基準諮問会議に提案されたテーマ

① 会計基準レベル

「継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発」については、次回以降の基準諮問会議で審議をすることとなった。

「完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理」については、実務対応専門委員会において評価を継続中である。

② 実務対応レベル

「リストラクチャリングに関連する引当金、早期割増退職金の会計処理」については、企業会計基準委員会（ASBJ）において調査を継続中である。

「商品デリバティブ取引に係るヘッジ会計関連規定」については、ヘッジ会計の限定的な見直しについて ASBJ の新規テーマとして提言することとなった。当テーマについては実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼し、開発には困難さも予想されるが、検討に値する可能性があると考えられる項目があるとの評価がなされている。

(2) 今回の基準諮問会議で新たに提案されたテーマ

「指定国際会計基準を任意適用している会社において、親会社が子会社を吸収合併する際に子会社から受け入れる資産及び負債の適正な帳簿価額の考え方」及び「加速型自社株買い（ASR取引）の会計処理」については、実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼することとなった。

2. 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

西川 ASBJ 委員長（当時）及び小賀坂 ASBJ 副委員長より ASBJ の最近の活動状況についての報告が行われ、基準諮問会議の委員から、のれんの会計処理及び IFRS のエンドースメントについてのコメントがなされた。